

令和 5 年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要  
農産・蚕糸部門

複合経営による「稼ぐ農業」と「地域を守る農業」の両立を実現

- 氏名又は名称 片瀬 克徳・片瀬 真由美
- 所在地 熊本県球磨郡あさぎり町
- 出品財 経営（葉たばこ・ミシマサイコ・水稻ほか）
- 受賞理由

・地域の概要

あさぎり町は、熊本県の南部、球磨盆地の中央に位置し、日本三大急流の一つに数えられる球磨川が町を東西に横切っている。恵まれた自然環境を活かし、水稻や野菜、畜産、工芸作物など多彩な農業が営まれており、特に、葉たばこと薬用作物のミシマサイコは、全国有数の産地である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

就農当時は、いぐさ 300a を中心とした施設園芸を経営し、平成 11 年には県農業コンクール新人王部門で優賞を受賞するほどの安定経営を行っていたが、先を見越し翌 12 年にはいぐさを廃作し、葉たばこを中心とする経営へ大きく転換した。

長男夫妻の就農を契機に、平成 27 年からミシマサイコを導入し、経営を葉たばこの二本柱とし、ライスセンター経営やミシマサイコ種子選別の受託など、周年での作業体系を確立した。労働力は 3 世代の家族で話し合いによる役割分担を通して、複合経営による高い所得を確保している。

・受賞者の特色

(1) 生産技術面

基本的な栽培管理と適期作業を徹底するため、過不足のない機械装備と年間雇用労働力の確保により、単収・品質を第一にした規模決定で作付面積を拡大している。このため、農地や作業場は、自宅から半径 0.5km 圏内に集約させ作業効率を高めている。

米乾燥機や各種農業機械は、中古をネット等で探し、自ら輸送・移設整備するなど、徹底したコスト削減と機械化体系の確立により経営の安定を図っている。土づくりは、野草・もみがら・米ぬか等に牛ふんを加え、5 年間熟成させた繊維質主体の完熟堆肥を使用する等、減化学肥料栽培に取り組んでいる。

(2) 販売戦略面

主軸である葉たばこ、ミシマサイコは契約栽培であり、単収・品質向上に専念し、より高い収益の確保に繋げている。一方、売れる米づくりを目指して米・食味鑑定士の資格を取得し、減農薬栽培でネット通販等の個人取引も多い。

(3) 地域社会への貢献

地元集落営農生産組合の組合長を務め、ライスセンター経営により地域の稲刈り作業を一手に担っている。また、県立農大生や農高生、経営開始型の研修生など数多く受入れ、同町での就農支援に多大な貢献をしている。

・普及性と今後の発展方向

ミシマサイコは専用機械が少ないため、代用できる機械を試し、作業の機械化・省力化により更なる効率化を目指すとともに、新たな経営の柱として、通常より単価の高いミシマサイコの原種栽培にも取り組んでいる。

今後、ゆとりある経営を目指すなかで、経営・受託面積の増加が見込まれており、常時雇用など年間を通じて労働力を確保するため、法人化を予定している。